



平成28年度

公益財団法人日本体操協会第1回理事会議事録

- 1.日 時 平成28年6月4日(土) 10時00分～10時45分
- 2.場 所 国立代々木第一体育館 貴賓室 会議室
- 3.出席者 <理事>
二木会長、塚原副会長、具志堅副会長、
渡辺専務理事、張西常務理事、竹内常務理事、水鳥常務理事、
遠藤常務理事、竹村常務理事、塚原千恵子常務理事、山本常務理事、
荒木理事、長谷川理事、加納理事、村木理事、田坂理事 福井理事
17名
- <欠席>
石崎副会長、山崎常務理事、米田常務理事 3名
- <監事>
竹田監事 1名
- <欠席>
監物監事 1名

4.資料の確認

- 当日資料 平成28年度(公財)第1回評議員会議題
平成27年度事業報告 資料No.1
平成27年度決算概要・決算報告書 資料No.2
(公財)日本体操協会『日本代表選手役員行動規範』
資料No.3
トランポリン都道府県登録競技者数一覧 資料No.4
一般体操通信 GCNo. 30号

- 5.権限審査 本日、理事会の出席者は17名であり、定款第7章第39条の定足数
10名を超えているので本会議は合法的に成立していることを渡邊事務
局長より報告した。



6.議長就任 定款第7章第38条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

7.議事録署名人

議長は、議事録署名人として議長ならびに水鳥常務理事の2名を指名し、議場に諮り、全員が賛同した。

なお、出席監事1名は定款第43条第2項の規定により、理事会議事録に記名押印することとなる。

8.審議事項

第1号議案 平成28年度第1回評議員会開催に関する事項

渡辺専務理事は、定款第7章条36条第1項の規定により、評議員会開催日時、議題等を決議する必要があり、下記のとおり説明を行った

1. 開催日時 平成28年6月26日(日)
13:00～
2. 開催場所 岸記念体育会館 504-505室
3. 議題
 - ① 平成28年度政策方針
 - ② 平成27年度事業報告
 - ③ 平成27年度決算報告
 - ④ その他

議長は、渡辺専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第1号議案は原案通り、承認・可決された。

第2号議案 平成27年度事業報告 (資料1)

渡邊事務局長より、平成27年度事業報告の説明を行った。(資料No.1)
公益目的事業と収益事業にわけて、説明を行った。

■公益目的事業

1. 国際貢献事業
2. 競技力向上・選手派遣事業
3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業
4. 競技会開催事業
5. 顕彰事業

■収益事業

- 1.マーケティング事業
2. 出版物販売事業

以上の項目につき資料 No.1 により、具体的に説明を行った。

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第2号議案は原案通り、承認・可決された。

第3号議案 平成27年度決算報告（資料2）

渡邊事務局長は、資料 No.2 により、詳細な説明を行った。

□. 正味財産増減計算書

予算経常収支は、予算 37,873 千円に対し実績は、55,405 千円増額の 93,278 千円となり予算実績比率 246%の達成となった。

また、期末正味財産残高は 217,218 千円となった。

	(実績)	(予算)	単位：千円
経常収益	1,168,733	924,213	
経常費用	1,075,455	886,340	
経常増減	93,276	37,873	

正味財産期末残高 217,218 千円

正味財産収支計算書の主要科目の特徴につき経常収益及び経常費用について説明を行った。

その他主要大会収支、強化本部関係助成金等の説明を行った。

□. 貸借対照表

総資産は、昨年度比較の 67,365 千円増加の 360,011 千円となった。

資産科目では、現預金・未収入金・前払金・基本財産、負債科目では未払金・前受金等について説明した。正味財産比率が 60.3%に改善。

その他経営数値について、過去7年間の状況を説明した。

渡邊事務局長の説明に引き続き、竹田監事より、公認会計士による独立監査人の監査報告書及び監事による監査報告書の報告が行われた。

議長は、渡邊事務局長等の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第3号議案は原案通り、承認・可決された。

議長は以上を持って審議事項を終了した旨、報告し、他の提案議題があるかを議場に図った、特に提案議題がなかったため、報告事項に移った。

報告事項第1号議案 平成28年度行動規範について (資料3)

遠藤常務理事総務委員長より、報告を行った。常務理事会での数回の議論を経て①行動規範 ②アンチドーピングに関するガイドライン ③メディア活動に関するガイドライン ④肖像等使用に関するガイドライン ⑤誓約書により構成した。

行動規範はNHK杯の監督会議で公知し、協会内部オーソライズしてHPへ掲載。アンチドーピングに関するガイドラインが確認・審議されていなかったため、今回報告に入れた。対象は強化指定選手、コーチは特任コーチを考えている。

報告事項第2号議案 新体操演技披露会・内定式インターネットライブ放送

引き続き、遠藤常務理事総務委員長より、上記の報告を行った。

6月15日に開催される新体操演技披露会・内定式インターネットライブ放送について、の報告があった。本年3月のアジア選手権日本代表選考会をライブ放送したところ、非常にコアなファンが存在することが判明。放送継続について、取引先から打診があった。実施には本来、費用が発生するため、収益の可能性の検証を含めて、今回再びテスト放送を試みるものである。

報告事項第3号議案 トランポリン国体に向けての登録状況報告 (資料4)

渡邊事務局長より、平成28年度の最新状況を日本体育協会へ提出した旨の報告を行った。(資料4)

2019年茨城国体からトランポリンの国体正式種目内定を昨年獲得したが、今年度は鹿児島国体に向けてのトランポリン登録競技者数の報告で、46都道府県で2,035名の報告。

前回の昨年報告は43都道府県の1,408名。

但し日本体育協会での依頼状況は依然として次の点であり、地道に改善を図っていく必要がある。

- ① 各県における組織の統合一元化
- ② 登録業務の一元化

本報告に関連し小竹地域委員長及び福井トランポリン委員長より、補足の説明を行った。

9.閉 会 議長は、すべての事項の終了を確認し、10時45分に閉会を宣言した。

平成28年6月7日

議事録署名人 二木 英徳



議事録署名人 水鳥 寿思



議事録署名人 竹田 幸夫

